

式中だより



平成28年(2016年)
9月21日(水)
発行 新島村立式根島中学校
04992(7)0017
<http://www.niiijima.com/shikichu/>

344号

「着地」

校長

例年になく台風等による風水害の多い夏で、現在でも繰り返し風水害が発生しています。被害に遭われて尊い命を失った方々のご冥福と、損壊した地域の一日も早い復興を祈念します。

さて、この夏はこのような暗いニュースだけではなく、日本中が各種競技の日本選手の活躍に湧いた「リオ五輪」がありました。数々の競技で「日本初のメダル」や「〇〇年ぶりの快挙」といった見出しがニュースに溢れていました。

数々の感動の場面がありましたが、その中でも、昔自分も競技をやっていた男子器械体操の団体優勝がとて心に残っています。予選でミスが連発して4位スタートだった決勝戦。それを挽回しての優勝でした。特に跳馬の白井選手、平行棒の加藤選手、鉄棒の内村選手のピタッと決まった着地には、体が震えてくるほどの感動を覚えました。自分も器械体操経験者なので着地を決めることの難しさはよく分かります。オリンピックという大舞台で、失敗が許されない状況で、あの着地は見事としか言いようがありません。

「着地」は演技の「終わり」です。着地が決まるかどうかで、演技の得点は大きく変わります。「終わりよければ全てよし」にもなるのです。そのために機械体操の選手は着地に気を使います。しかしどんなに気を付けてもピタッと決まるものではありません。着地は頭で考えて決めるのではなく、どんな状況になっても決められるよう、体が覚えるまで繰り返し練習するしかないのです。「終わりよければ全てよし」とは、同じ演技を何百回と繰り返した練習の成果に他なりません。

皆さんも「終わりよければ…」になるよう、自分の目標に向かって繰り返し努力を続けて欲しいと思います。まずはこの2学期を充実したものにする事からですね。



夏休みを終えて ～各担任より～



<1年> 約40日間にわたる長い夏休みが終わり、2学期を迎えました。夏休み前に、5人とも学習面・生活面の目標を立てました。夏休みが終わり、「今」の自分はどうでしょうか？自分が夏休み前に目指していた自分になれているでしょうか。この1ヶ月での成長を2学期のあらゆる場面で披露してくれることを期待しています。 担任：

<2年> 2年生は夏休み中に、それぞれ島内で職場体験を行いました。また、8月末に予定していた3人合同でのクリーンセンターでの職場体験は、台風接近のため延期になり9月中に行う方向で日程調整をしています。1学期が終わり、いよいよ2学期突入です。2学期も学芸会や運動会など行事が盛りだくさんです。今期も様々な経験を通じて3人が成長していく姿を見守っていきたいと思っています。みんなの活躍を期待しています。 担任：

<3年> 1学期終盤、教室後方の黒板に「夏休みまであと〇日！」とカウントダウンをしていた3年生。担任は「楽しいだけの夏休みで終わらないといいけど…」と密かに心配していました。中学3年生の多くは夏休みが来ることを恐れています。部活は引退、塾の夏季講習で勉強漬けになる子が多いからです。式根島の子ども達はご家庭や民宿さんのお手伝いもあって大変ですが、夏休みのしおりを見る限り、手伝いや学習を両立する努力が見られたように感じました。さて2学期です。3年生の努力する姿が、様々な場面で見られることを楽しみにしています。 担任：

夏休みの生活反省を受けて

担当：生活指導主任

2学期初日は全校生徒が元気な姿で登校できました。新学期が始まってまだ間もないですが、夏休み明けにまず感じたのが、宿題の提出率の良さでした。どの学年もほとんどの生徒が2学期初日の提出日にちゃんと宿題を出していました。そこに関しては予想を良い方に裏切ってくれました。

長い夏休みの間、それぞれに勉強も頑張りながら海へ行ったり、都内に出たりと、楽しい思い出も出来たようです。「夏休みのしおり」、「夏休み明けアンケート」を見てみると、計画的に過ごせなかった生徒や、睡眠時間など、生活が乱れてしまった生徒もいたことが分かりました。夏休みの生活の乱れを1日も早く整えてもらいたいと思います。



「エネルギー環境教育モデル校との意見交換会」

校長

8月25日に千代田区の科学技術館で「意見交換会」を行ってきました。これは本校と同様に、平成26年度からエネルギー環境教育に取り組んでいる、静岡県浜松市立積志中学校との意見交換会です。事前に一度スカイプ会議で顔合わせだけはしていましたが、積志中は生徒会役員以下生徒15名、先生方も5名の参加で、たった2名で参加する本校代表、A君とBさんは少し緊張気味でした。

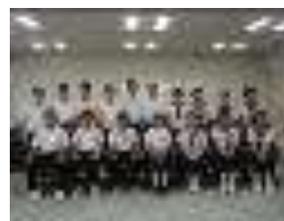
最初に自己紹介をしてから各校の取組発表が行われ、まず積志中が発表しました。積志中では「エネルギーを大切にすることは、人を大切にすることである」をコンセプトに、学校内や近隣の小学校へエコの取組を訴えるだけでなく、「挨拶運動」や「ペットボトルキャップ回収」（アフリカ等にワクチンを送る活動）等、幅広い取組が紹介されました。本校では、最初にBさんから式根島の紹介と、島内の電気・水道事情について発表し、次にA君が26・27年度に行ったエコプロの実践報告を行いました。二人の発表に対し、式根島の水についての質問や式中の行ったソーラークッカー（太陽熱で調理する）への感想等が述べられました。

休憩を挟んで、今後のエネルギーの課題について自分の考えをまとめた後、何人かと個別に意見交換して考えを修正し、最後に全員が自分の考えたことを発表しました。A君とBさんは次のような発表をしました。

〈A君〉僕はエコプロについて、他の学校と意見交換をしてきました。僕はあまりエコプロについて分からなかったのですが、他の学校の生徒のおかげで色々分かることができました。今後、自分たちが（未来のエネルギー問題について）どうすれば良いのかを考えていきたいです。

〈Bさん〉私はこの交流会を通じて、今エネルギーについて数々の問題があることを知りました。知っていれば少なからず皆気を付けることができるので、より多くの方がエネルギーや環境問題について知ることが大切だと思いました。また、一人ずつが未来のエネルギー問題について意見をもち考えることこそ、今、私たちができることだと思いました。

本校の2名も積志中の15名も、立派な態度で堂々と発表しました。会に出席して頂いた経済産業省総合政策課の奥戸 務 調査広報室長補佐も、「大変素晴らしい意見発表だった。未来を担う中学生がエネルギー問題を考える有益な会だった。」とお話しされていました。意見交換会が無事に終わってホッとした表情になった二人でした。



2年生 島内職場体験

担当：

2学年では島内職場体験を実施しました。7月16日（土）にAくんが式根島養殖場で、8月4日（木）にBさんが式根島保育園で、8月26日（金）にCさんが、フレッシュライフSHINYAで職場体験をさせていただきました。

「日々自分のことよりも魚のことを優先しなければならない」という養殖場の方からの言葉を受けて、働くことの大変さを実感したAくん。エサやりを中心によくがんばっていました。イルカの群れを見ることができたのも、がんばったご褒美かもしれませんね。

保育園に職場体験に行ったBさん。午前中は中学校のプールで水泳指導をしました。いつも入っているプールに保育園児と入って、落ち着かない雰囲気でしたが、お手本の泳ぎを見せていました。そして、夏休みの最後にCさんは新屋さんへ。新さんが売り出しの日で朝から値段のポップをつける仕事をしました。夏休みということもあり、お客さんも多くほとんど1日中働き詰めの充実した職場体験になりました。また夏休み中、クリーンセンターで3人揃って職場体験をさせていただく予定でしたが台風のため延期となり、9月中頃に体験させていただく予定です。最後に、ご協力いただきました体験先の皆様に心から御礼申し上げます。

水泳シーズンを終えて

担当：

9月の9日で3ヶ月間の水泳シーズンも終わりました。授業や夏休みの水泳練習だけでなく、自分から海にたくさん遊びに行くたくましい島の子になって欲しい。

式根島育ちだと胸を張って言うためには競泳4種目が速く泳げるようになるだけでなく、式根の海で安全に楽しく遊び、そこに生きる様々な生き物もしっかり理解したいですね。

ひとつだけ、確実に身につけて欲しいのが、水中マスクのガラスを1時間以上曇らせないで使えるようになること。また、日に焼けた黒い体が元気な島の子と思います。



●バドミントン部都大会

バドミントン部顧問：

7月25日に都大会団体戦、7月28日に都大会個人戦に出場しました。3年生にとっては、中学校生活最後の大会でした。結果は団体戦2-0、個人戦も全員2-0で負けてしまいました。結果だけを見るとストレートで負けてしまいましたが、試合内容としては収穫のあるものでした。試合の途中で逆転し、リードする場面もありました。7-0と点差を広げられてもシャトルを諦めずに追いつけるときもありました。ただ今回の大会で一番わかったことは、「夏の都大会」の雰囲気に負けてしまったことです。大勢の選手や応援がいる中、人数の少ない式根島中は緊張し、いつもの練習成果を発揮することができませんでした。日頃、島で生活していて、大勢の中で練習をする機会がありませんが、来年こそは大会の雰囲気に負けない強い気持ちをもって大会に臨みたいと思います。

●テニス部 「努力に即効性はない」

テニス部顧問：

しっかり準備をして努力すれば、「能力も素質も都内の中学生に全然負けていない」ということが証明された新人大会だったと思います。今年度は夏休みに2度の東京遠征を実施し、本番に向けて実践的な練習を積んできました。結果は人それぞれですが、一定の成果を残すことはできました。技術面以外でも、「挨拶」や「会場では荷物を並べる」「物を大切に扱う」といった行為がみられたことは大きな成長だったと思います。来年はもっと良い結果が求められます。地道に目標を見失わず一步一步頑張っていきましょう。努力に即効性はありません。ここからが勝負です。

運動会にむけて

担当：

運動会が10月1日（土）に予定されています。天候に恵まれ実施できるといいですね。運動会は元気な子どもたちや島民のはつらつとした姿を見る楽しみな行事です。

今年「リオ」でオリンピックが開かれました。多くの感動を呼ぶパラリンピックも始まりました。オリンピックやパラリンピックに出場した人々や出ることが出来なかった人々の報道も胸を熱くしました。開島130周年を記念した式根島大運動会でも多くの感動が見られることと期待しています。

運動会を通して自分が走れることに、また歩いたり笑ったりできる「幸せ」をよろこんでください。練習で走り込むつらさや本番で負けた恥ずかしさなんて大丈夫！！

がんばれ、こどもたち！！ 村の方々もいつまでも元気に参加してください。グラウンドは中学校一同で整備しておきます。

「夜空の色は」

波ようねりよ

京浜工業地帯と呼ばれる港町の一角で育った私にとって、夜空と言えば「オレンジ色」、海と言えばビルの隙間に見えるものでした。地表近くの夜空は、工場や高速道路のナトリウム灯でいつもオレンジ色に染まっています。式根島で見る美しい星々は、地元の明るすぎる夜に見ることはできません。星の代わりは工場夜景。毎夜、不思議な夜の景色を生み出しています。

工場群を見下ろす高台にある母校からは、人工物ひしめく町が広がり、遠いビルの隙間に、ほんの少しだけ海が見えました。灰色の隙間に見える海は陽光を返して、岩に埋もれる宝石のかけらのように、小さくきらきらと光っていました。小さな海はそれでもとても眩しくて、窮屈な思いを抱えた思春期の私には、特別な海に思えたものでした。

大型船に乗ると、懐かしいふるさとの景色を海から眺めることができます。育った町を思うと、心が穏やかになるような気がします。辛い思いも楽しい思い出もたくさん詰まった風景です。どんな土地にも、その土地に育った人のたくさんの思いがあるように感じて、そういった土地に宿るたくさんの心を、いつも大切にしたいなと思います。

10月の予定

生活目標：言葉で気持ちを伝えよう
保健目標：目の健康に注意しよう
給食目標：栄養素のはたらきをしよう

『式中だより』は、毎月20日を目途に発行していきます。

1	土	式根島大運動会
2	月	運動会予備日
7	金	運動会振替休業日
13	木	生徒総会リハーサル
14	金	生徒総会
16	日	道徳地区公開講座 公開授業始

20	木	公開授業終
21	金	道徳地区公開講座・振替休業日
24	月	教育相談始～10/28まで
26	水	交流活動(翌日が予備日)
31	月	昼学活 昼清掃

※カラー版の式中だよりはホームページをご覧ください。

